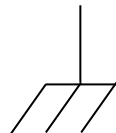


- 1 NC（数値制御）工作機械では、あらかじめプログラムされた順序に従い切削工具により加工するので、複雑な形状や精度の高い加工には適さない。
- 2 卓上ボール盤では、リーマ通し、ねじ立て、中ぐり、座ぐりの作業はできない。
- 3 60Hzで使用している誘導電動機を50Hzで使用すると、回転数は6/5倍になる。
- 4 三相誘導電動機は、3本の配線のうち、いずれかの2本の接続を入れ替えると回転方向が逆になる。
- 5 ダストやミスト、埃、^{ほこり}粉塵は、漏電や短絡、^{じん}発熱、絶縁不良といった現象を引き起こし、電気設備の故障や火災に繋がる原因となる。
- 6 位置決め制御におけるフィードバック制御は、制御対象の現在位置や速度などの状態を検出せずに位置決めを行う制御方法である。
- 7 予防保全には、一定周期で点検・整備するものと、劣化の進行を定量的に測定し、予知・予測するものがある。
- 8 管理のサイクルとは、Plan→Check→Do→Actionの順に繰り返し回すことである。
- 9 歯車の伝達トルクに脈動が起きた場合には、歯車のバックラッシュを大きくとる。
- 10 パレート図は、設備故障の低減活動の優先付けをするときなどに用いる。
- 11 鉄の融点は、アルミニウムの融点より低い。
- 12 S20Cの炭素含有量は、約0.2%である。
- 13 表面硬化法には、クロムめっきや表面圧延が含まれる。
- 14 一般的に両頭グラインダは、砥石^との側面を使用してよい。
- 15 5S（整理・整頓・清掃・清潔・^{しつけ}躰）の「躰」とは、必要なものを必要なときに、取り出せるように、決められたところに、決められたとおりに置くことをいう。

- 16 三相誘導電動機は回転子の構造により、かご形と巻線形に大別される。
- 17 ステッピングモータは、1パルス信号ごとに一定角度回転するモータである。
- 18 リミットスイッチは、機械や製品の、動きや位置を検出するスイッチである。
- 19 コンデンサの合成静電容量を大きくするには、コンデンサを並列に接続する。
- 20 導体内を移動する電子の方向と、流れる電流の方向は同じである。
- 21 直流回路における電気抵抗に相当するものを、交流回路ではインピーダンスという。
- 22 電動機の制御に使用されるインバータは、直流を交流に変換するだけでなく、その周波数も変えられる。
- 23 水晶発振回路は、規則的なパルスを発生させることができるため、コンピュータなどのデジタル回路を動作させるのに使用される。
- 24 増幅回路の入力電圧と出力電圧の関係を入出力特性といい、入力電圧が小さいときは比例関係にある。
- 25 アナログ式の回路計（テスタ）は、内蔵する電池を取り外しても、抵抗レンジで回路抵抗値を測定することができる。
- 26 ノイズフィルタは、入力信号を増幅することができる。
- 27 圧着端子に記されている「2-6」は、 2mm^2 の電線を用いて、6mmのネジで取り付けることを意味する。
- 28 絶縁抵抗は、温度が上昇すると抵抗値が上がり、印加電圧が高いほど抵抗値が下がる特性をもっている。
- 29 日本工業規格（JIS）によれば、下図は「機能等電位結合」の電気用図記号である。



30 日本工業規格（JIS）によれば、下図は「電力計」の電気用図記号である。

